

## 平塚地区防災まちづくりモデル事業検討委員会

### 第 1 回会合・議事次第

司会・進行 山田 美智子 (SCN クラブ副代表)

1. 座 長 挨 拶
2. 委 員 紹 介
3. 内閣府より防災まちづくりモデル事業についての説明
4. 委員会の委員選定理由、委員会の方向性説明
5. 平塚の現状評価・共有のためのワークショップ
  - 1) グループ作業
  - 2) 意見交換・グループ発表

休 憩

6. 花水地区での防災の新しい取り組みの紹介
  - 1) 耐震補強・普及紙芝居他 篠原憲一
  - 2) 街歩き・マップづくり他 藤井世枝己
  - 3) 被災体験講演会・丈夫なお部屋づくり他 添田睦子

7. 今後の展開についての意見交換  
・モデル事業の方向案の提示 木谷正道

8. 今後の予定の提案

16時終了予定

終了後、同じ場所でお茶・お菓子で懇親会を開催いたします。よろしければご参加ください。

(151130)

## 平塚地区防災まちづくりモデル事業検討委員会の基本的なことから

はじめに

中央防災会議という、国の防災対策の基本方針を決める会議があります。

9月18日、この中央防災会議に、「民間と市場の力を生かした防災対策の専門委員会」が新設されました。

専門委員会は、防災まちづくりに先進的に取り組んでいる地区をモデルに選定し、官民が協調して地域の防災力向上に向けた取り組みを行うための課題等について具体的に検討することとしています。

平塚は、他の5地区(早稲田、大手町・丸の内・有楽町、名古屋駅、目白、多摩田園都市)と共にモデル地区に選定されました。

平塚の場合は、福祉をはじめ様々な分野のNPO、ボランティア活動、消費者運動など市民活動が盛んであり、今年から、従来の自治会等の防災の取り組みに加え、PTAや防災ボランティアなどにより防災の取り組みが急速に盛り上がり連携が進んできたこと、防災に関する地域メディアの活動などが着目されています。

調査の進め方としては、地域・民間が参加する「防災まちづくりモデル事業検討委員会」を立ち上げ、様々な事業に取り組みながら、その結果を評価・検討します。

そして、全国で防災まちづくりを進めるためのノウハウを抽出し、中央防災会議の検討に反映させていくことになります。

以下は、平塚地区防災まちづくり事業検討委員会の目的など基本的なことからです。

### 1 検討委員会の目的

#### (1)平塚における防災まちづくりモデル事業の評価と検討(中央防災会議側からの期待)

防災にとらわれないさまざまな主体の活動の観察を通じて、なかなか進まない個人やまちの防災対策に対して、民間の知恵と力を借り、民間の防災まちづくりの以下の点を知りたいということにあります。

##### アウトリーチへの取り組み

活動を仕掛ける中心組織・人物が地域における一般の人々をどのように巻き込むのか。

##### 地域防災力の自己評価

自らが自分たちの住む地域の災害に対する弱さをどのように認識し、行動に移しているのか。

##### 活動におけるボランタリー性

自分たちのためにどこまで楽しんで活動に参加しているか。

## 取り組みにおけるパートナーシップ

純民間における取り組みの中で、民間同士のさまざまな主体の中でどのように連携がなされ、保たれているのか。

### (2) 防災まちづくりの発展・連携による地域防災力の向上(平塚地区の側からの期待)

様々な団体により取り組まれている平塚の防災まちづくり事業を発展・連携させることにより、地域防災力を向上させること。(この目的を決めることもこの委員会の目的です。)

両者は密接に関連しており、同時に達成することが期待されます。

## 2 検討委員会の構成(別紙名簿)

平塚市、特に花水地区、で、防災に関わらず、教育、環境、福祉、外国人支援、地域活動に関して、意欲的に取り組んでいるひとと、学識経験者及び神奈川県、平塚市の防災関係部局(オブザーバ)により構成します。

なお、各委員は個人としての参加とし、その意見はそれぞれが所属する団体を代表するものとはしません。

## 3 検討委員会の設置期限と委員の任期など

平成15年11月30日～平成16年3月31日

## 4 活動・検討の対象となる地域

これまでの経緯から、花水地区を主な対象地域としますが、この地区に限定する必要はなく、地域を越えた連携と波及が進むことが期待されます。

## 5 検討委員会の日程と日常的な情報共有

### (1) 委員会の開催

期間中、4回の委員会開催を予定しています。

第一回 15年11月30日(日)13:30～ 会議の趣旨、取り組みの方針、日程など

第二回 16年1月18日(日)13:30～ 各分野の取り組みの報告と討議

第三回 16年2月21日(土)13:30～ 中間総括/事業報告素案の討議

第四回 16年3月28日(日)13:30～ 事業報告案の討議と承認

### (2) 日常的な情報共有

メンバーの数が多数であること、検討期限が限られていることなどから、日常の情報共有が重要になります。

このため、検討委員会での議論とともに、eメール、FAX、ニュースレターなどにより、日常的な情報共有を進めます。

## 6 検討委員会メンバーの役割

### (1) 平塚の防災まちづくりについてのご意見、ご感想をいただくこと

4回の委員会及び日常的な情報共有の中で、平塚の防災まちづくりモデル事業を評価・検討するためのご意見やご感想をいただくこと。

### (2) 防災まちづくりへの自主的な取り組みとゆるやかな連携

それぞれの実情とそれぞれのご判断に応じて、自主的に平塚の防災まちづくり事業に関わっていただき、ゆるやかな連携が発展することを期待します。